

富山県SDGs宣言



富山森林組合 はSDGsの達成のため、
以下について取り組むことを宣言します。

当組合は、富山市域の森林の管理・整備を行っており、令和3年度の主な事業実績は、森林整備（保育）面積413.5ha、主伐面積3.1ha、木材生産量8,308m³です。

人々、組合事業の推進=SDGsの推進と考えておりましたが、今回富山県SDGs宣言の取り組みを知り、この機会に改めて目標を設定し、事業に取り組むこととしたものです。

<当社の経営目標>

持続可能な森林経営の実現を目指し、地域の森林資源を「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業を確立する。

No.	取組目標及び主な取組み	SDGsゴール
1	<p>【目標】 再生可能エネルギーの増加に向けて木質バイオマス発電所等への木材供給を行う。</p> <p>【主な取組み】 木質バイオマス発電所等への木材納品量 令和7年度、5,000tを目指す。</p>	
2	<p>【目標】 気候変動や自然災害の脅威に対して、森林整備の推進による、炭素貯蔵強化に取り組む。</p> <p>【主な取組み】 森林整備の推進を図り、間伐面積を 令和7年度、120haを目指す。</p>	
3	<p>【目標】 持続可能な森林経営の実施を目指し、「伐って、使って、植えて、育てる」森林の循環利用を推進する。</p> <p>【主な取組み】 森林の循環利用を推進するために、令和7年度、木材伐採量12,000m³、新植面積8ha、保育面積40haを目指す。</p>	

2021年 10月 21日

企業・団体名 富山森林組合

代表者名 代表理事組合長 足谷吉彦